

来週の「売り物」記事はこれ



2012年2月17日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

インフルエンザ対策 くらしナビA面 22日(水)



小中学校では学級閉鎖が相次ぐなど今、全国各地でインフルエンザが大流行しています。国の新たな対策をはじめ、校内での流行を押さえ込むことに成功している学校などを取材し、現状を探りました。インフルエンザにかからないための方法も改めて紹介します。

童話新企画始まります くらしナビA面 24日(金)

1200字の童話「小さなおはなし」が、4月から1年ぶりにくらし面で復活します。2カ月ごとにテーマを設け、読者の投稿も受け付けて、プロとアマチュアが競作します。お話づくりの魅力を、童話作家の中川李枝子さんらに語ってもらいました。



スプラウトに注目！ くらしナビB面 21日(火)



寒さが厳しい今年、キャベツや白菜などの葉物野菜が高騰する中、もやしやカイワレ大根などの「スプラウト(新芽野菜)」が注目されています。水耕栽培などで安定供給できるため価格が手ごろなうえ、栄養価も抜群。そんなスプラウトを使った料理を紹介します。

シリーズインタビュー「時代を駆ける」

遺品整理会社で「アントキノイノチ」のモデル、吉田太一さん

21日(火)から2週・10回

日本初の遺品整理専門会社「キーパーズ」を02年に創業した吉田太一さん(47)＝写真＝が登場します。

勉強が嫌いでスポーツに明け暮れた高校時代、さまざまな職業を経験した20代――。「他人がやってない、そして社会が求めるもの」を追い続けて立ち上げた新しいビジネスは、さだまさしさんの小説「アントキノイノチ」のモデルになり、映画化もされました。

遺品整理の現場から見えてくる、現代社会を語ります。



連載企画「インサイド」

台頭する市民ランナー — 「川内現象」の土壤を探る

運動面 21日から連載



低迷が続く日本の陸上競技・男子長距離界で、市民ランナー・川内優輝選手＝写真＝（埼玉県庁）の活躍が異彩を放っています。県立高校の事務職員として働きながら、国内トップクラスのマラソン選手になりました。市民マラソンが大きなブームになる中、実業団選手と張り合うほどの実力者はほかにも出てきそうです。制約のある練習環境で力をつける彼らの姿から、学ぶものは多そうです。川内選手が出場する大規模レース、東京マラソン（26日）開催を前に、エリート市民ランナーの取り組みを、運動面の連載企画「インサイド」で21日から5回にわたって紹介します。

連載「菊とメープル～ある日系人の物語」 20日から連載

カナダ西部ブリティッシュコロンビア州生まれのゴードン門田さんは日系人2世です。父親の勘太郎氏は製材を学ぶためカナダに渡りました。ですが、第二次大戦が一家の運命を翻弄します。家族は太平洋を隔てたカナダと日本に分断され、兄弟は異なる軍服を着ることになりました。戦後、カナダに戻ったゴードン門田さんは日系人社会の指導者となり、日本とカナダの懸け橋として活躍。日系人の名誉回復の取り組みはカナダの少数民族の権利回復運動にも影響を与えています。ゴードン門田さんと一家の波瀾万丈の歩みをたどる連載「菊とメープル～ある日系人の物語」を20日から夕刊に掲載します。（外信部）



改名宣言！

「友紀夫」で出直します 夕刊特集ワイド面 20日（月）



「友紀夫に変えたい」——。唐突に改名宣言をした鳩山由紀夫元首相（65）＝写真。自身の政治信条である「友愛精神」を広く世に知らしめたいというのが、その理由だといいます。政界引退を表明しながら、あっさり撤回した「前科」があるだけに、今回はどこまで「本気」なのでしょう。そんな素朴な疑問に、鳩山サンは『友愛』を因数分解すると……などと宇宙語を交えて力説してくれました。もちろん、気になるあの人との関係についてもたっぷり聞きました。

「知りたいが分かる」がモットーの毎日新聞夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。